越高新聞
発行所
埼玉県立越ケ谷高校
新聞部
越谷市越ケ谷2788－1
0489－62－7286
印刷所
朝夕新聞
越谷市千間台8－6－9
0489－29－2626

ここまで落ちた？我越高

募集定員に満たず

来年度新入生競争率〇・九九倍

二月七日で締め切った願書受付も、我越高は〇・九九倍と低くその後の最終結果でも一・〇六倍と例年にない競争率であった。このような急激な低下は、どのような原因によって起こったのであろうか。今ここで考えておくべき問題ではないだろうか。

今年も例年通り三月一日より五日までの二週間、県立高校の願書受付が始まった。いよいよ行なわれた新課程の第一期生の高校生活を始めるべく、約五〇〇人程後となり、競争率は一・一～一・三倍程度になるであろうと思われていた。しかし、古くは締め切って蓋を開けてみると競争率が急激に低下し、一・〇六倍にまで落ちてしまった。なぜ、競争率が低下したのであろうか。

まず、地域的に考えてみると、越谷地区の人口は、ここ数年間、ほぼ横ばいの状態であるが、この二年間の人口の動きを見ると、人口の増加は、ほぼ一定であるが、この間は同じ傾向であるとも言えるであろう。

次に、高校進学希望者の動向を見ると、昭和四十九年度の中三生の人数は、昭和四十八年度の中三生の人数に比べ、約一〇〇人程減少している。この傾向は、ほぼ全国的であるとも言われている。

我校は、例年通り、希望者の多くを越谷地区から、また、近隣地区から、約四〇～五〇人程、また、春日部地区から、約一〇～二〇人程、また、加須地区から、約一～二人程、また、幸手地区から、約一～二人程、また、久喜地区から、約一～二人程、また、鷲宮地区から、約一～二人程、また、栗橋地区から、約一～二人程、また、三郷地区から、約一～二人程、また、吉川地区から、約一～二人程、また、松伏地区から、約一～二人程、また、杉戸地区から、約一～二人程、また、庄和地区から、約一～二人程、また、宮代地区から、約一～二人程、また、白岡地区から、約一～二人程、また、鶴ケ島地区から、約一～二人程、また、川越地区から、約一～二人程、また、熊谷地区から、約一～二人程、また、大宮地区から、約一～二人程、また、北本地区から、約一～二人程、また、久喜